9/24 福井

コロナ オミクロン株対応

新ワクチン 県内接種開始

福井の会場 初日予約は91人

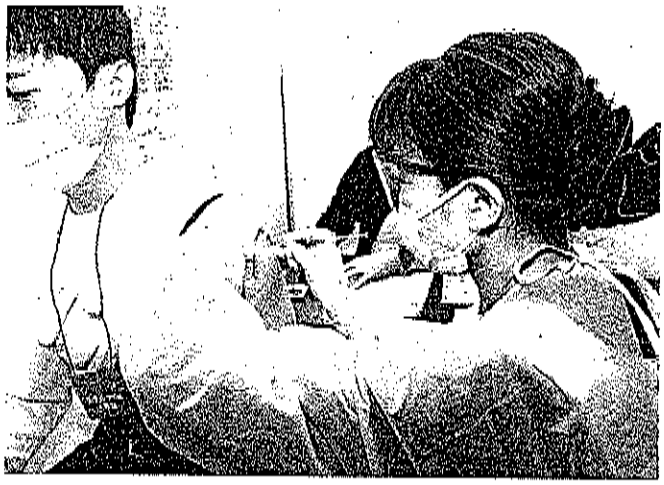
新型コロナウイルスのオミクロン株に対応した米モデルナ製ワクチンの集団接種が二十三日、県営接種会場のエルパプラス（福井市大和田二）で始まった。当面は、三回目接種から五カ月以上経過した六十歳以上の人や基礎疾患のある十八歳以上の人が接種対象となる。＝新型コロナ関連⑤⑯面（成田真美）

初日は九十一人の予約があり、午後六時に接種を開始。福井市の事務職員田谷さゆみさん(六〇)は「二十二日に従来ワクチンの接種予約を入れていたが、二十三日から新ワクチンの接種が始まると知って予約し直した」と話した。これまでの三回は米ファイザー製を接種して頭痛や発熱の症状が出たといい、モデルナ製を接種することによる副反応を心配していた。

同会場では二十四、三十日、十月一日にも接種日を設けている。定員は金曜日が百人、土曜日が三百人で、事前予約が必要。

オミクロン株に対応した新ワクチンの接種は、各市町でも順次、集団接種と個別接種が始まる。今月中に福井市、越前市、池田町が集団接種を、おおい町、越前市、小浜市、勝山市が個別接種を始める。

県の担当者は「新たなワクチンは従来のワクチンを上回る効果が期待できるので、ぜひ接種を検討してほしい」と呼びかけている。



オミクロン株対応の新ワクチンの接種を受ける人＝23日、福井市のエルパプラスで

オミクロン株対応ワクチン　新型コロナウイルスのオミクロン株の特徴に対応できるようにした新しいワクチン。中国・武漢で当初流行したウイルスの遺伝情報を基に開発した従来品に、変異したオミクロン株に対応する新成分を混ぜた「２価ワクチン」で、米ファイザーと米モデルナがそれぞれ手がける。厚生労働省は、今年初めに流行したオミクロン株ＢＡ・１向けの成分が入った両社の新ワクチンを承認した。ファイザー製は12歳以上でモデルナ製は18歳以上が対象。ファイザーは、現在流行の主流のＢＡ・５対応品についても承認を申請した。モデルナも申請する予定。